

2017年度 第3四半期報告の概要

2018年2月15日
明治安田生命保険相互会社

【2017年度第3四半期業績のポイント】

グループベース・明治安田生命単体ともに増収増益。基礎利益は、グループ・単体ともに過去最高益を達成

保険料等 収入

- グループ保険料は、明治安田生命単体およびスタンコープ社の増収等により、2兆2,250億円と前年同期比5.3%の増加
- 明治安田生命単体は、2017年8月に発売した外貨建て一時払保険の貢献等により、1兆9,984億円と前年同期比2.0%の増加

基礎利益

- グループ基礎利益は、明治安田生命単体およびスタンコープ社の増益等により、3,934億円と前年同期比22.7%増加
- 明治安田生命単体は、外国公社債利息の増加や株式の増配等による利息及び配当金等収入が増加したこと等により、3,619億円と前年同期比19.8%の増加

健全性

- 連結ソルベンシー・マージン比率は、1,011.5%、明治安田生命単体は、957.7%と引き続き高い健全性を維持

業績等 見通し

- 2017年8月に発売した外貨建て一時払保険や、第三分野商品の拡販、スタンコープ社の業績貢献等により、グループベース・明治安田生命単体ともに増収増益の見通し

【明治安田生命グループの業績】

1. グループ保険料、グループ基礎利益、連結ソルベンシー・マージン比率

○グループ業績は、明治安田生命単体の増収増益に加え、スタンコープ社の貢献等により、グループ保険料は2兆2,250億円、グループ基礎利益は3,934億円と、増収増益を達成

○連結ソルベンシー・マージン比率は、1,011.5%と引き続き高い健全性を維持

■ グループ保険料

(単位：億円)

	2017年度 第3四半期連結累計期間		2016年度 第3四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ保険料 ^(注1)	22,250	+5.3%	21,128
明治安田生命単体	19,984	+2.0%	19,584
海外保険事業等 ^(注2)	2,266	+46.8%	1,543
うちスタンコープ社 ^(注3)	2,085	+52.2%	1,369

■ グループ基礎利益

(単位：億円)

	2017年度 第3四半期連結累計期間		2016年度 第3四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ基礎利益 ^(注4)	3,934	+22.7%	3,207
うち明治安田生命単体	3,619	+19.8%	3,021
うち海外保険事業等 ^(注2)	366	+52.3%	240
うちスタンコープ社 ^(注3)	251	+82.4%	137

■ 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：%)

	2017年度 第3四半期連結期間末		2016年度末
		前年度末差	
連結ソルベンシー・マージン比率	1,011.5	+12.6ポイント	998.9
うち明治安田生命単体	957.7	+12.2ポイント	945.5

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) 海外保険事業等は、国内生命保険事業以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月

(注3) スタンコープ社の2016年度第3四半期は3月(株式取得月)から9月までの7ヵ月分

(注4) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

【明治安田生命単体の業績】

2. 保険料等収入、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料

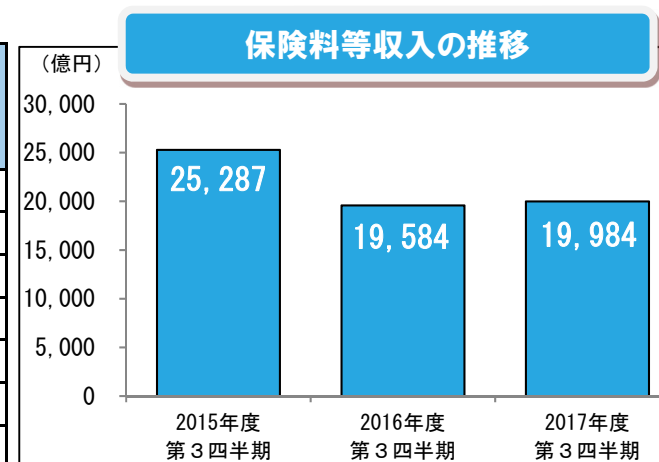
○保険料等収入は、2017年8月に発売した外貨建て一時払保険の貢献等により、1兆9,984億円と前年同期比2.0%の増加

○新契約年換算保険料は、2017年4月に平準払貯蓄性商品において予定利率引き下げや一部商品の販売休止等を実施したこと等により、前年同期より減少したものの計画どおり進捗

■ 保険料等収入の状況

	2017年度第3四半期累計期間		2016年度 第3四半期累計期間
		前年同期比	
保険料等収入	19,984	+2.0%	19,584
うち個人保険・個人年金保険	12,538	+0.7%	12,452
うち営業職員チャンネル	9,859	+1.6%	9,700
平準払商品	8,964	+0.3%	8,937
一時払商品	894	+17.4%	762
うち銀行窓販チャンネル	2,405	+0.2%	2,399
うち団体保険・団体年金保険	7,161	+4.7%	6,840

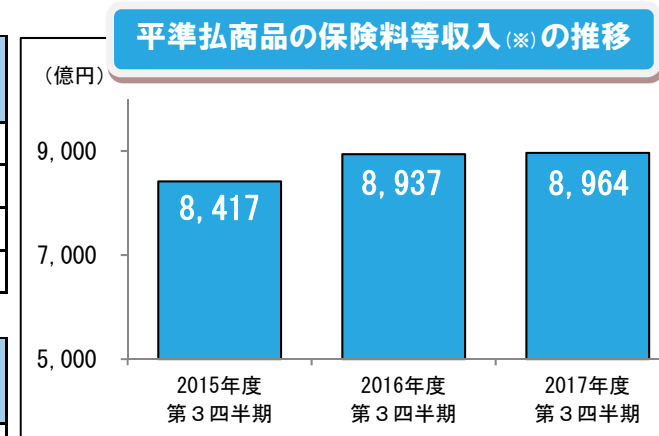
(単位：億円)



■ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

	2017年度第3四半期累計期間		2016年度 第3四半期累計期間
		前年同期比	
新契約年換算保険料	909	△28.0%	1,262
うち営業職員チャンネル	763	△22.5%	984
うち銀行窓販チャンネル	128	△50.5%	258
うち第三分野	279	△0.6%	281

(単位：億円)



■ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

	2017年度第3四半期会計期間末		2016年度末
		前年度末比	
保有契約年換算保険料	22,489	△0.0%	22,500

(単位：億円)

(※) うち営業職員チャンネル

【明治安田生命単体の業績】

3. 契約クオリティ(解約・失効・減額率、総合継続率)

○ご契約内容やご請求有無を確認する「定期点検」等を通じた積極的な「対面のアフターフォロー」により、契約クオリティを示す指標は、引き続き良好に推移

○解約・失効・減額率は、2.64%（前年同期差0.09ポイント改善）

○総合継続率は、13月目・25月目総合継続率ともに高水準を維持

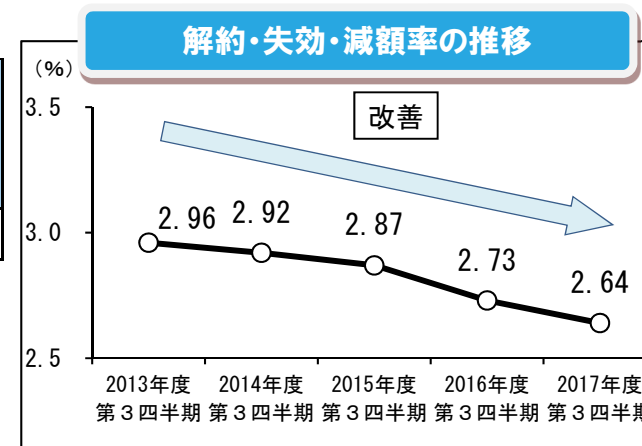
■ 解約・失効・減額率^(注1)の状況（個人保険・個人年金保険）

	2017年度 第3四半期累計期間	
		前年同期差
解約・失効・減額率	2.64	△0.09ポイント

(注1) 年度始保有契約年換算保険料に対する解約・失効・減額年換算保険料の割合

(単位：%)

2016年度 第3四半期累計期間
2.73



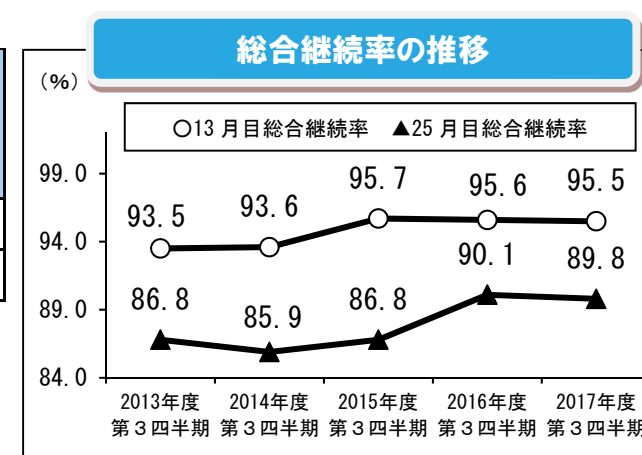
■ 総合継続率^(注2)の状況（個人保険・個人年金保険）

	2017年度 第3四半期累計期間	
		前年同期差
13月目総合継続率	95.5	△0.1ポイント
25月目総合継続率	89.8	△0.3ポイント

(注2) 総合継続率は、契約高ベースにて算出

(単位：%)

2016年度 第3四半期累計期間
95.6
90.1



【明治安田生命単体の業績】

4. 基礎利益

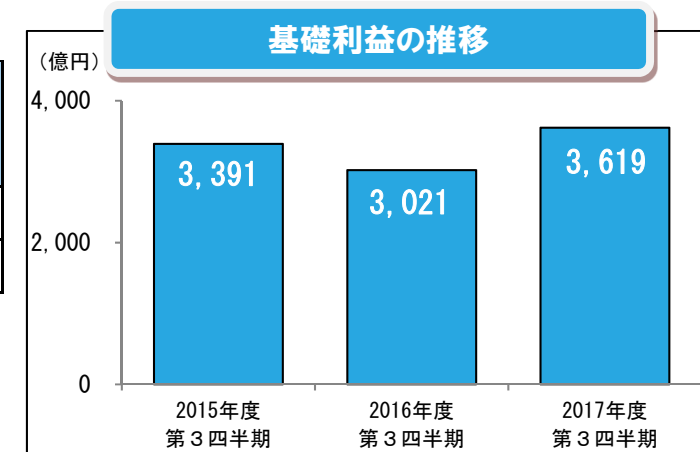
○基礎利益は、外国公社債利息の増加や株式の増配等による利息及び配当金等収入が増加したこと等により、3,619億円（前年同期差+598億円）と前年同期比19.8%増加し、第3四半期ベースで、明治安田生命発足以来の過去最高益を達成

■ 基礎利益等の状況

	2017年度 第3四半期累計期間	
		前年同期差
基礎利益 ^(注)	3,619	+598
うち利息及び配当金等収入	5,346	+348

(単位：億円)

2016年度 第3四半期累計期間
3,021
4,997



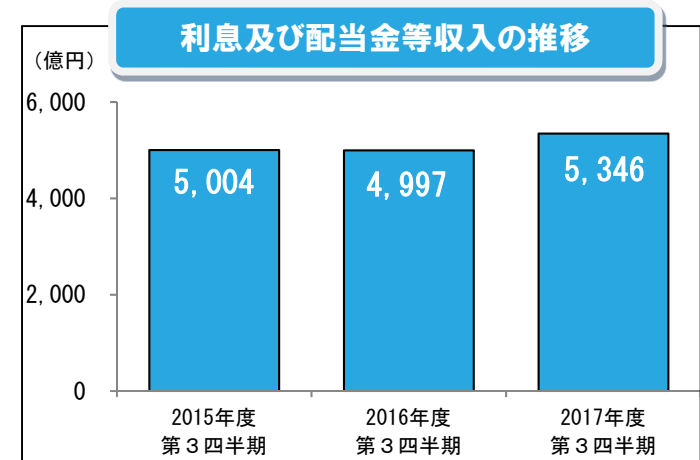
《ご参考》

■ キャピタル損益

	2017年度 第3四半期累計期間	
		前年同期差
キャピタル損益 ^(注)	△816	+179
うち有価証券評価損	△1	+173

(単位：億円)

2016年度 第3四半期累計期間
△995
△174



(注) 2017年度上半期報告より、基礎利益からマーケット・ヴァリュアメントに係る解約返戻金額変動の影響額および外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額を除く。なお、この変更を2016年度第3四半期累計期間に適用すると、2016年度第3四半期累計期間の基礎利益は30億円増加、キャピタル損益は30億円減少

【明治安田生命単体の業績】

5. ソルベンシー・マージン比率、実質純資産額、オンバランス自己資本

○ ソルベンシー・マージン比率は、957.7%と引き続き高い健全性を維持

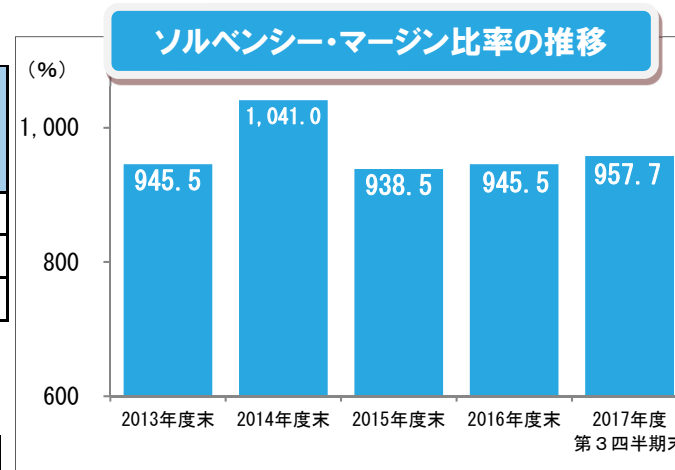
■ ソルベンシー・マージン比率

	2017年度 第3四半期会計期間末	
		前年度末差
ソルベンシー・マージン比率 ^(注1)	957.7	+12.2ポイント
ソルベンシー・マージン総額(A)	81,199	+7,915
リスクの合計額(B)	16,956	+1,455

(注1) ソルベンシー・マージン比率=(A)/(1/2×(B))×100

(単位：%、億円)

2016年度末	
ソルベンシー・マージン比率	945.5
ソルベンシー・マージン総額(A)	73,284
リスクの合計額(B)	15,501

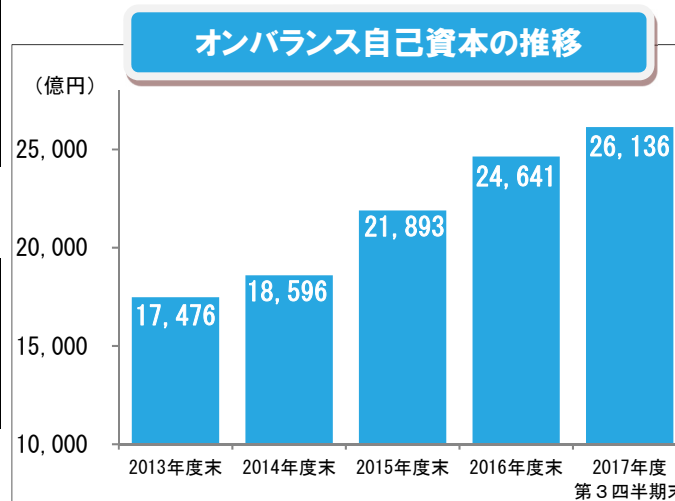


■ 実質純資産額

	2017年度 第3四半期会計期間末	
		前年度末差
実質純資産額	103,365	+7,726
一般勘定資産に対する比率	27.4	+1.4ポイント

(単位：億円、%)

2016年度末	
実質純資産額	95,639
一般勘定資産に対する比率	26.0



■ オンバランス自己資本

	2017年度 第3四半期会計期間末	
		前年度末差
オンバランス自己資本 ^(注2)	26,136	+1,495

(注2) 実質的に資本性が比較的強いと考えられる部分に限定した内部留保と外部調達資本の合計額

(単位：億円)

2016年度末	
オンバランス自己資本	24,641

【明治安田生命単体の業績】

6. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

○一般勘定資産全体の含み損益は、国内外の株価上昇や、円安等に伴い外国証券の含み益が増加したこと等から、6兆8,001億円（前年度末差+7,592億円増加）

○国内株式含み損益ゼロ水準は、8,300円程度

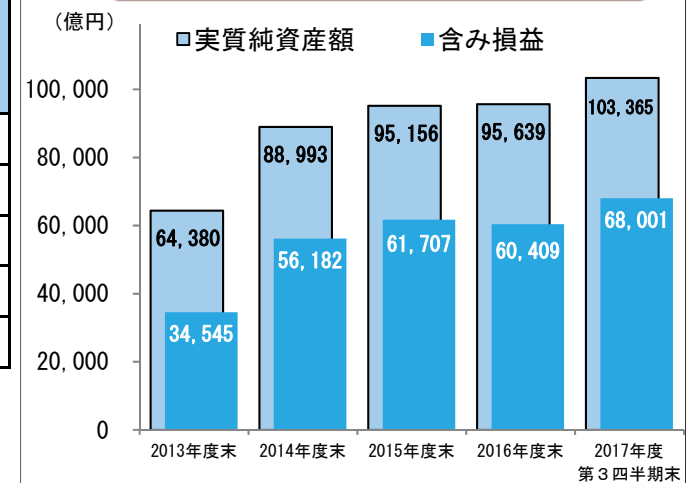
■ 一般勘定資産全体の含み損益

	2017年度 第3四半期会計期間末		2016年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	68,001	+7,592	60,409
うち時価のある有価証券 ^(注)	63,925	+7,256	56,669
うち公社債	25,974	+96	25,877
うち株式	29,389	+5,907	23,482
うち外国証券	7,608	+867	6,741

(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

(単位：億円)

含み損益の推移



■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合

	2017年度 第3四半期会計期間末	2016年度末
日経平均株価ベース	8,300円程度	8,000円程度
TOPIXベース	660ポイント程度	650ポイント程度

【(参考) スタンコープ社の業績】

7. スタンコープ社の保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益

■保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益の状況^(注1)

(単位：億円)

	2017年度 第3四半期累計期間		前年同期比	2016年度 第3四半期累計期間	
保険料等収入	2,085	+52.2%		1,369	
基礎利益相当額 ^(注2)	251	+82.4%		137	
当期純利益 ^(注3)	50	+55.5%		32	

(注1) スタンコープ社は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第3四半期グループ業績への反映期間は1月から9月までの9ヵ月分。2016年度第3四半期は3月(株式取得月)から9月までの7ヵ月分

(注2) 基礎利益相当額は、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前の税引前利益からキャピタル損益や責任準備金の積み増し等の一時費用を控除したもの

(注3) 買収会計適用後

※2016年度第3四半期は2016年9月末の為替レート(1米ドル=101.12円)、2017年度第3四半期は2017年9月末の為替レート(1米ドル=112.73円)で円換算

※2016年度通期実績は、保険料等収入2,265億円、基礎利益相当額240億円、当期純利益71億円

○保険料等収入は主力である団体保険事業を中心に堅調に推移したため、2,085億円と前年同期比52.2%増加

○基礎利益相当額は251億円と前年同期比82.4%増加。当期純利益については米国法定会計で求められる責任準備金算出の基礎率改定を受け、第3四半期に一部商品について責任準備金の積み増しを実施したものの、50億円と前年同期比で増益

○2017年度通期の業績見通しにおいては、保険料等収入は増収、基礎利益相当額は増益の見通し。当期純利益についても、米国の連邦法人税引き下げの影響等があり、大幅な増益を確保する見通し

【業績等の見通し】

8. 2017年度業績等の見通し

- 2017年度のグループ保険料・基礎利益見通しは、2017年度上半期報告時から変更なし
- 2017年8月に発売した外貨建て一時払保険や、第三分野商品の拡販、スタンコープ社の業績貢献等により、グループベース・明治安田生命単体ともに「増収増益」の見通し
- 企業価値（EEV）は2017年度始より増加する見通し

■ グループ保険料の見通し

	2017年度	前年度比	2016年度実績
グループ保険料 ^{(注1)(注3)}	30,800億円程度	+7.4%程度	28,663億円
うち明治安田生命単体	27,800億円程度	+6.2%程度	26,158億円

■ グループ基礎利益の見通し

	2017年度	前年度比	2016年度実績
グループ基礎利益 ^{(注2)(注3)}	5,300億円程度	+6.8%程度	4,962億円
うち明治安田生命単体	5,000億円程度	+5.8%程度	4,723億円

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

(注3) 業績見通しにおける想定為替レート：対米ドル110円

■ 企業価値（EEV）の見通し

	2017年度末	2017年度始
企業価値（EEV）	2017年度始より増加 ^(注4)	47,132億円

(注4) 低金利環境下における高予定利率契約の継続率改善等により、見通しを修正